

南房総地域における草地環境の生態系の把握とその多面的機能の普及啓発活動

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

体験実施 48回

リーフレット配布 1,000部

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 80%

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

担い手不足が顕著な集落をいかに活動に協力をしてもらうか理解してもらうまでが苦労した。

■工夫した点

大学生との連携により、若い力と考えを取り入れることで、楽しみながら竹林や耕作放棄地の管理作業を行うことができた。



大学生たちとの連携による竹林整備作業風景

課題

様々な希少生物が生息する草地環境であるが、草地の利用価値の低下や、管理の停止により荒廃している。また、荒廃した草地の増加により鳥獣被害も増えている。

目標

荒れた草地の新たな価値を見出し、活用され、様々な草地性の生物が生息する環境が形成される。

活動内容と成果

- ① 観察会形式での生物調査を48回実施、2,500名が参加
- ② 地域の酪農文化や草地の多面的機能の勉強会を6回実施
- ③ 調査結果をまとめた冊子を1,000部作成
- ④ 4回の体験プログラムの開発と実施
- ⑤ 25集落43人の農家インテプリターの養成と体験活動の実施
- ⑥ 草地の管理計画の検討、集落間連携における「草刈りプチサミット」の開催
- ⑦ 大学生との連携による竹林や耕作放棄地の整備作業
- ⑧ 農家や農家民泊組合と連携



観察会形式での生物相の調査風景



草地環境の歴史と文化、生物相を纏めた図鑑 山千枚田保存会

全助成期間の活動を振り返って

1,200種を超える生物相の把握やそれを紹介するための冊子の作成と普及啓発活動は順調に行うことができた。また、1haほどの草地環境の復元を行うことができた。

しかしながら鳥獣被害対策においては市の枠を超え、鴨川市、南房総市、館山市など安房郡全体の問題であり、これまでの活動で作ってきた南房総の草地環境の生態系の豊かさや歴史文化の普及を啓発を続けるとともに、農地の保全の促進を続けていかなければと感じた。

活動地域 | 千葉県鴨川市

〒296-0232 千葉県鴨川市平塚540棚田倶楽部内

電話：04-7099-9050

E-mail: info@senmaida.com

http://www.senmaida.com/



今後の展望

作成した図鑑や構築した各団体や農家、学生との連携をしながら地域の草地環境の保全と利活用の見直しのための活動を継続して行っていく。また、市町村を跨いだ地域の課題を解決していくための新たな連携を作り活動をしていく。